

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Onehand (ワン・ハンド)		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実性・身近に体験できないことができ自己肯定感をあげることができる。	毎月の活動の変化。季節の感じ方。個々のニーズに対応し成功例を重ね達成感へつなげ成長できる環境であること。	個々の特性を生かしコミュニケーションの取り方の学びの在り方。気持ちの切り替えができるようになる。体幹トレーニングによるけが予防や姿勢保持ができるようになる。
2	第三者委員会の設置	R7年度より地域の民生委員の方の郷里欲の元設置することとなる。	第三者委員会の元、苦情解決やその他問題が発生した際はご意見を求める次第である。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーではない。	バリアフリーは環境面では難しい。	環境整備は厳しいので、児童の動きを踏まえた危険を予知でき状況の判断にて、安全を確保できるスキルを身につけること。
2	事業所のマニュアル化は作成しているが、ご家族様へ周知ができていない状況である。	情報の伝達を強化できるように推進する。	月1回の活動計画や広報・Instagramなどを活用し情報強化に努める。次年度は、ホームページ更新作成にてR8月上旬に掲載する。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Onehand (ワン・ハンド)

公表日 R8 年 4 月 10 日

利用児童数 R8 年 2 月 20 日 回収数 2

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				スペース的には適しているのではない か。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2				人員以上に対応しているように思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			1	バリアフリーが良いが、それが良いのか が分からない。	障害児だからバリアフリーが良いとは限 らないし、危険を回避する状況も踏まえ ての現状であります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				良いのではないか。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	2				受けられていると思います。	職員には、個々の個性、特性を踏まえて の支援を行えるようにしております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	2				詳しいことはあまりわからないが、支援 内容は理解しているの良いと思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	2				十分に理解しているとは記載があるが、 子供に関しての計画は作成されていま るので良いと思います。	状況変化があった際は、モニタリングに 伴い計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。		1		1	ガイドラインなどはわからない。	ガイドラインに沿った支援内容は実施 していますが、保護者様に分かりやすく 具体的に説明を実施して参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					個々の児童に沿った支援内容を今後も実 施します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	2				活動プログラムに関しましては、他とは ない計画が良いのではないですか。	スタッフにて個々の特性や、他の事業所 ではない活動を取り入れ工夫はしており ます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。		1		1	保育園や、幼稚園での交流は、他の事業 所でもあまり聞きません。	限定的な保育園や認定こども園との交流 はなされてははいないが、他事業所とのか かわりは行えています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	2				最初に、契約の時に話していただいで いる。	初回時や契約時には説明はさせて頂いて おります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	1			説明はされている。	支援計画書の説明は、行ってはいますが 具体的に分かれよ酸く説明を行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。		1	1		あまりわからないしされていないと思 う。	具体的に理解できるように情報共有とと もに参加に機会を増やしてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	2				いつも伝えてくれます。	変化時はもちろん、日々の様子や状況は 送迎時や、モニタリング時などお話をさ せていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					定期的以外にも情報共有はしておりま す。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					情報共有やご家族様とともに職員それ ぞれに共感を持てるように支援を行って おります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2		今年度は、保護者との交流の機会がな かったが、兄弟姉妹など他事業所との交 流はあったようです。	今年度は、運動会や、秋祭りなど保護者 様の交流の機会を作れずいたしましたの で、次年度は計画を立て実施いたしま す。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					相談など申し入れ体制はできております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				定期的な通信の配布はされています。子供の様子など分かりやすいです。	広報は毎月配布しており、インスタグラムにも記載させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				契約時に説明は受けています。	個人情報の取り扱いに関しては、契約時に説明を行うとともに、スタッフの採用時に契約書に捺印にて留意事項として説明しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		1		1	マニュアルは契約時に聞いてはいましたが訓練などはわかりません。	玄関にマニュアル等は閲覧できるようにしており、契約時にもお話ししております。訓練等もインスタや広報に掲載しておりますが、ご家族様に周知できるように発信してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1			訓練等は子供から聞くこともあるのでされているようです。	事業所では子供たちと訓練に関して話をしたり訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				安全に支援していただいているのではないのでしょうか。	訓練や計画の説明を行い支援しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				少しの怪我や様子がおかしいときなどは、すぐに連絡をしてくれます。	迅速な対応を行えています。ご家族様や児童が不安にならないように説明し支援しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				任せています。	安全に園やご家族様のもとに帰所（帰宅）出来る様に行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				色々な経験をし楽しみにしているようです。	今後も実施まいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				満足です。	今後も実施まいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Onehand (ワン・ハンド)				公表日		R8 年 4 月 10 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	活動に応じては、外部にて実施しています。	児童発達の児童がかかわるスペースでは適切であると思います。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		適切です。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		あえて、現状のままの環境で実施しています。	あえて、現状のままの環境で実施しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		良いのではないか。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学習室や、別室があり対応はできるようにはなっています。	支援内容によっては、崩れる児童も見受けられるが、別室対応は可能です。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5	2	振り返りを自分自身行っていない。	時間を作り、スタッフが初期の段階から関わることができるように行います。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		人事考課や個別相談ができる機会があります。	年に2回の個別懇談や月1回のスタッフ会議にて議題に挙げたり改善にはつなげています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	年1回の外部評価はあるので把握はしています。初めてのことなどであまり理解を自分自身していません。	外部評価後の月に公表し改善に努めています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修を受講する機会が設けられています。	法人内の研修は月1回は行っています。また、外部研修の参加も行っています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成され、玄関内での閲覧や、通信などで公表はされています。	作成され、玄関内での閲覧や、通信などで公表はしております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		アセスメントに応じてニーズに合わせ支援計画の作成は行えています。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	共通理解は持つての取り組みは行えてはいます。	スタッフの共通理解や検討をする際は、時間帯を考慮し改善に努めてまいります。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画書に伴った支援が実施されているかはわからないときがあります。	スタッフが、計画書のニーズに合わせての支援ができるように努めます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		理解している意識はあります。	アセスメントを行うのと同時にインフォーマルやフォーマルが理解できるように状況を把握しております。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			ガイドラインは把握できるように熟読し理解できるようにしています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		スタッフ全員にて立案し意見交換し実施しております。				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		スタッフ全員でプログラムが固定化しないように意見交換し実施しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		状況に応じて実施されています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		ミーティング時に加奈ら、振り返りや活動内容に役割分担はおこなえています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		特記がある際は支援終了後行うときはあるが、後日ミーティングにて必ず実施しています。	必ず申し送らなければならない用件は話し合い申し送りノートを活用しております。後日ミーティングにて行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援記録は、その日に記載するとともに、支援の検討改善を行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		実施しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		スタッフが各担当のもと、参画しております。	スタッフ全員が状況を把握したうえで会議等に参画しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		実施されております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		情報共有等は実施されており相互理解にも努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		情報共有と相互理解は図られております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7		外部研修には参加させていただいています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7		極力参加させていただいています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	児童発達センターの役割ができていないかは定かではありませんしよくわかりません。	スーパーバイザーの役割や助言をいただけるように機会を作りたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	保育園やこども認定園、幼稚園の交流の機会はありません。それぞれの行事に関わる機会が難しいのが現状であります。	今後は、機会を見ては活動機会ができるように努めてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	保護者様との関連性の理解は示しております。	保護者様の考えの違いが見られた際は、傾聴するとともに課題について共通理解を行えるようにしております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	家族参加や情報共有があまりできなかったと認識しております。	今年度は、家族参加の研修機会や情報共有を行えるようにしてまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明等は行えています。	見学時や利用契約の時に説明しており、支援プログラムに関しては、閲覧ができるようになっています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談機会を設けさせていただいたり、意見等をお聞きした上で確認をしております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		必ず説明するとともに同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		実施しています。	適宜、電話、メール、送迎時など助言や支援に繋げております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	今年度は父母の会参加活動など行っていないが、兄弟間姉妹間での交流の機会は設けさせていただいております。	前年度は、運動会や秋祭りなど保護者様同伴での交流を実施していましたが、今年度は他事業所との交流を重視いたしましたので機会を作れずいました。次年度は両立できるように計画させていただきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談申し入れは常に行えるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の広報（通信）を行うとともにInstagramでの発信は行っております。	次年度は、ホームページの更新を行い情報を発信いたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			契約時やスタッフ採用時に留意いたしております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		障害児童や保護者様との意思疎通をはじめ情報伝達には危機感を持ちつつ配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		ハロウィン時や地域のごみ拾いなど参加したり交流を図っています。	地域に根差した貢献できるように行っております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		実施しています。	マニュアルは契約時や玄關にて閲覧できるように設置しております。訓練等は、障害児童が分かりやすいように説明を行い実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		実施しています。	業務継続計画を策定しており、避難や消防署に出向き訓練をしております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		マニュアル作成しておりますし服薬時の確認は行っております。	障害児童の身体に関わることなので確認は必須であります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		マニュアル作成しております。現在は該当児童はいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		契約時の説明とともに安全に支援できるようにスタッフに周知し障害児童に関してもの安全に努めるように訓練研修を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		スタッフはもちろんですが、保護者様にも周知していただくとともにルールやマナーを遵守し、ご家庭で情報共有に努めていただけるように取組内容に理解をしていただけるようにします。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが悪いのではないという認識を再度確認して際は失い取り組みを行います。	ヒヤリハットは防止するために、たくさん挙げていただき再発防止できるようにしてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		障害児童やスタッフ間でのストレスが虐待につながるないように、研修等を行い悪循環を回避できるような対応を行います。	年に2回の面談をしており、ストレスにつながるような支援や研修を行い対応しております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		現時点では発生しておりません。	他害や自傷行為につながる可能性がある際は、時間・場所・理由を明確にし、保護者様や本児に支援計画に基づくように記載する必要性はありますが、現時点では発生しておりません。